

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	向社会行動を支える心と社会の相互構築
研究代表者	山岸 俊男（一橋大学・大学院国際企業戦略研究科・特任教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>本研究は、規模が大きく、追求する質も高い。また、社会科学として、新しい視点、新しい手法も含まれており、独自性も高い。応募者は現在に至るまで社会心理学の分野で世界的にも有数の研究業績を上げ続けており、この計画の実現可能性も十分にあると判断できる。</p> <p>一部、宗教、歴史的社会的変遷、社会構造などの議論が欠落した中で、遺伝子や脳科学に結論を求めることに少し不安がある旨の意見があったものの、本研究は、当該研究分野をリードし、国際的波及力の大きな研究になり得る可能性があることから、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>